

シンポジウム 3 (看護師企画) SY3-3 日本高気圧潜水医学会看護部会設立に当たって

土居 浩

牧田総合病院 脳神経外科

【はじめに】

この学会の発展に対して看護師の関与が重要であることは言うまでもないが、私が開催した学会以前は演題が少なかったが、高気圧酸素治療 (HBO) の安全に関して看護師の関与の発表していただき多くの看護師の参加があり、感激していました。その後各委員会にも参加していただき、ますます重要なメンバーになっていった現在、看護部会の設立の議論になり、地方会検討委員会の委員長として意見を述べさせていただきます。

【考案】

現在所属している病院は多数の臨床工学士がおり、月曜から土曜日まで毎日外来および入院患者の HBO が問題なく施行されているが、現に HBO 装置を使用する地方の基幹病院などでも臨床工学士が不足して、入院患者だけの HBO しかできないとの返事をいただくことが多い。もちろん看護師不足の問題もあるが、地方では看護師中心の HBO が行われることも多く、この学会の専門技師認定制度でも臨床工学士だけでなく看護師・准看護師も認定対象であることから、学会からも専門技師を増加させるに当たっては看護部会があれば強力な援軍になることは言うまでもない。また HBO の安全性の向上には、看護師の協力が必要で、看護部会から全国の看護師に安全教育が推進されることを望む。また今回の学会テーマにある連携があれば、臨床工学士や看護師から医師へのフィードバックも期待できる。

【結語】

地方会検討委員会、安全協会のトップとして看護部会の設立が必要と考えている。